



鹿部町立鹿部中学校

学校通信 第10号

電話 7-3114

令和8年1月22日発行

在籍生徒数88名

1A 27名 ひまわり4名

2A 26名 ひまわり2名

3A 35名 ひまわり2名

《重点教育目標》

「主体的に学び続け、自らの人生を舵取りする力」の育成
スローガン 「一歩前へ」 ～ 考 動・共 生・創 造 ～

「 考動・共生・創造を磨き極め 次のステップに繋がる3学期に ～ 」

校長 坂 本 学

令和8（2026）年が始まり、早くも一ヶ月が経とうとしています。明るく平穏な新年を迎えたいと願っていましたが、年明け早々、世界や国内で不安を抱かせる出来事が相次ぎました。

4日には、アメリカがベネズエラの首都で軍事作戦をおこない、麻薬密輸を根拠にマドゥロ大統領夫妻を拘束し、アメリカ国内へ移送・起訴するという、にわかには信じがたいニュースが報じられました。ロシアによるウクライナ侵攻が長期化し、世界各地で平和を求める声が多く高まる中で起きた出来事に、深い衝撃を受けました。また、6日には鳥取県及び島根県で震度5強の地震が発生し、けが人や建物・インフラ設備への被害が報告されました。北海道でも、昨年12月に北海道・三陸沖地震により後発地震注意情報が発令されたことが記憶に新しく、改めて大規模地震への不安を覚えた方も多かったのではないのでしょうか。

これらのニュースを通して、現代が先行き不透明な時代であることを改めて実感させられます。

このような時代だからこそ、社会の変化がこれまでに経験したことのない速さと大きさで進むという認識に立ち、生徒一人一人に「**しなやかに自らの人生を舵取りする力**」を身に付けさせていくことが学校教育の重要な使命と考えております。

今年度の本校の教育活動も、残すところ3学期のみとなりましたが「**考動・共生・創造**」を磨き極めることを目標に、教育活動を推進して参ります。引き続き保護者・地域の皆様の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼

3学期始業式において、全校生徒に話した内容を掲載いたしますので御一読いただければ幸いです。

全校生徒の皆さんには、1学期から継続して取り組んできた「考動・共生・創造」を磨き極め、自らの成長を実感し、次に繋げる3学期にしてほしいと願っています。1年生は後輩を迎える心構えを、2年生は最上級生となる心構えを、そして3年生には目前に迫っている進路目標の達成と高校生活に向けた心構えをしてほしいと思います。

さて、昨年9月にパナソニック I T S 株式会社代表

取締役社長の田辺孝由樹氏を講師にお迎えし、アントレプレナーシップ推進大使による授業を実施しましたが、覚えていますか。授業の中で田辺氏は「失敗はガソリンです。失敗をすればするほどガソリンが増え、より遠くの目的地まで行くことができます。人はある程度のガソリンを持って生まれてきますが、失敗を経験しなければ、遠くの目的地にはたどり着くことができません。」と話し、**失敗を恐れずに挑戦することの大切さ**を教えてくださいました。

ここで田辺氏が授業の中でも話していた、パナソニック創業者の松下幸之助さんの言葉を紹介します。この言葉は次のステップを意識し、成長へ踏み出す勇気を与えてくれるものですので、ぜひ参考にしてください。

『日に新た』

心静かに年が明けて 心静かに新年の計を立てる。 まずはめでたい新春の朝である。

人は様々。人のさだめも その歩みもまた様々。様々な中に、様々な計が立てられる。そんな中でも大事なことは、今年も去年のままであってはならないということ、今日は昨日までのままであってはならないということ、そして、明日は今日のままであってはならないということである。

万物は日に新た。

人の営みもまた、天地とともに日に新たでなければならない。憂き事の感慨はしばしにとどめ去りし日の喜びは、これをさらに大きな喜びに変えよう。**立ちどまってはならない。今日の営みの上に明日の工夫を、明日の工夫の上に、あさっての新たな思いを。** そんな新鮮な心を持ちつづけたい。そんな思いで、この日この朝を迎えたい。

鹿部中生には、この言葉のように、立ち止まらず小さな一歩でも、日々の努力の積み重ねを、今日の自分に明日の目標を持ち続け、成長する3学期にしてほしいと期待しています。

3学期がスタートしました

1月15日（木）。令和8年を迎え3学期が始まりました。みなさんにとって、今年はどのような年になるのでしょうか。始業式では、生徒会長からは「学習はもとより、自分の趣味にも取り組むことができ、充実した冬休みを過ごすことができました。」との話がありました。一人一人が自分の時間を大切にし、心身ともにリフレッシュできた冬休みであったことが伝わってきました。

3学期は年度の中でも最も短い学期ですが次の学年や新たな進路へ繋がる大切な節目の学期でもあります。どの学年においてもこれまでの学習を振り返り、理解が不十分な点を見直しながら確かな学力を身に付けることが大切です。3学期の学びの充実が次のステップの土台となることを期待しています。



赤い羽根共同募金

ご協力ありがとうございました

12月17日から12月24日までの期間、本校では生徒会を中心として「赤い羽根共同募金」の活動を行いました。期間中は、生徒一人一人が福祉への理解を深め、思いやりの心をもって募金活動に参加することができました。その結果、募金総額は6,566円となりました。集まった募金は、地域の福祉活動や支援を必要とする方々のために大切に活用されます。本活動にご協力いただいた生徒の皆さん、心より感謝いたします。今後も生徒会を中心に、地域とつながる活動を大切にしていきたいと考えています。

3学期の授業が始まっています

1年生の美術では、令和9年度に開校される義務教育学校に向けた校章のデザイン作成に挑戦しています。グループごとに話し合いを重ねながら、学校への思いや願いを一つの形にしようとする姿が見られました。作品を仕上げていく中で、創造力だけでなく、協力することの大切さや表現する楽しさを学んでいます。



1年 校章をデザインしよう

2年生の保健体育では、グループでのダンスの授業に取り組んでいます。動きを考え、お互いの呼吸を合わせながら練習を重ねる中で、表現力や協調性を高めています。仲間との声かけも大切にして、楽しみながら主体的に活動する姿が見られました。



2年 踊って自分を表現しよう

3年生は、始業式の次の日に中学校最後の定期テストがありました。これまでの学習成果を確認するとともに、受検本番へ向けた大切なステップとなります。これまで努力してきた自分を信じ、最後まで粘り強く問題に向き合っていました。一日一日の積み重ねが、進路実現へと繋がっていきます。



3年 受検本番に向けて